

思い出の詰まった校舎に別れ

小野高校平田校卒業式・閉校式

小野高等学校平田校の最後の卒業式が3月1日、同校で行われました。

渡邊学小野高校長から最後の卒業生となった16人に卒業証書が手渡されました。

また、卒業式終了後、引き続き閉校式が行われました。

閉校式では、鈴木淳一県教育長が式辞を述べ、渡邊校長と遠藤廣幸実行委員長から歴代の学長、分校長、PTA会長や学校功労者に感謝状・表彰状が手渡されました。

最後に、出席者全員で平田校賛歌「永久の輝き」を歌い、思い出の詰まった学校の閉校を惜しみ、70年の歴史に幕を下ろしました。

卒業生が最多だったのは昭和51年度の90人で、閉校するまでに2千人近い卒業生を輩出しました。

卒業式



渡邊学校長



卒業証書の授与



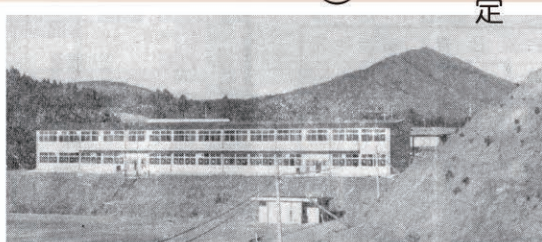
卒業生代表のことば

佐藤匠さんが「梅の花の季節になったら、平田校がこの地にあったことを思い出してください」と述べ、出席者の涙を誘いました。



平田校の主な沿革

- 昭和23年12月1日 田村農業高等学校蓬田季節学級（家庭科）設置
- 昭和24年4月1日 田村農業高等学校、定時制蓬田分校を設置
- 昭和26年10月1日 独立校舎新築移転（永田字切田158番地）
- 昭和27年4月1日 小野新町高等学校蓬田分校と改称
- 昭和30年4月1日 町村合併により小野高等学校平田分校と改称
- 昭和33年4月1日 平田村立産業高等学校を分校内に併設
- 昭和44年3月31日 平田村立産業高等学校 廃校
- 昭和48年11月29日 全日制普通科 移行決定
- 昭和53年7月4日 新校舎建築工事着工（上蓬田字切山27番地）
- 昭和54年1月9日 新校舎 竣工
- 昭和55年12月26日 体育館 竣工



昭和54年1月
上蓬田字切山に小野高校平田分校校舎が完成

閉校式

福島県教育委員会
鈴木淳一教育長



感謝状の贈呈



お別れのことば

生徒代表の神原美流さんが「この学舎で過ごした日々は決して色あせることなく、いつまでも私たちの心に残ると思います」と述べました。



同窓会長の遠藤廣幸さんが、平田校での思い出などを涙にむせびながら、万感の思いで述べられました。



校歌

作詞 天野多津雄
作曲 岡山 直

一 阿武隈の山脈かすみ
草萌ゆる 小野の高原
若き情熱 ここに注ぎて
正義をかざし 理想に生きん
ああ 我等 小野高学徒
高らかに歌わん
母校の栄誉

二 紺碧の 秋空すみて
紅葉映ゆ 夏井の流れ
若き精魂 ここに傾け
真理を究め 文化を拓く
ああ 我等 小野高学徒
高らかに歌わん
母校の栄誉



平成元年 8月25日

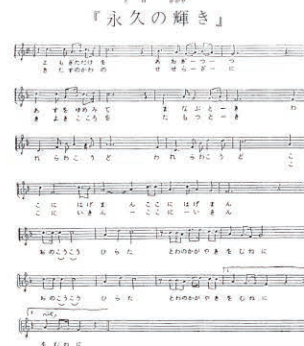
平田分校愛唱歌「永久の輝き」^{とわ}制定

平田校賛歌 永久の輝き

作詞 芳賀香織 佐藤元愛
作曲 尾形秀重

一 蓬田岳を仰ぎつつ
明日を夢みて 学ぶとき
われら若人 ここに励まん
小野高校平田
永久の輝きを胸に

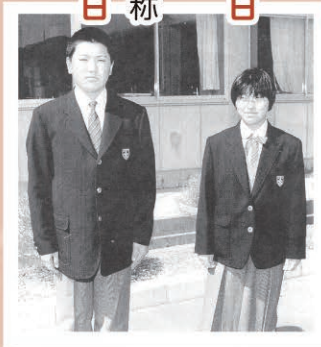
二 北須の川のせせらぎに
清き心を 保つとき
われら若人 ここに生きん
小野高校平田
永久の輝きを胸に



平田分校 40周年記念愛唱歌制定

平田分校独自の愛唱歌を制定しようと歌詞を公募した結果、26点の応募があり、芳賀香織さんと佐藤元愛さん合作の「永久の輝き」が選ばれ、当時の福島東高等学校の音楽担当尾形秀康教諭に作曲を依頼し、立派な平田分校賛歌が出来上がり、歌い継がれてきました。

平成2年 4月1日
制服の変更
平成20年 4月1日
小野高等学校
平田校と改称
平成31年 3月1日
最後の卒業式
閉校式



平成2年4月
ブレザー制服でフレッシュ
新生 平田分校スタート